



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 ニッチツ
 コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬 靖夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松井 慎一
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5561-6200

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,471	△5.8	307	△26.0	306	△36.8	187	△42.3
29年3月期第3四半期	6,873	△5.7	415	13.5	485	29.6	324	35.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 330百万円 (△22.6%) 29年3月期第3四半期 426百万円 (131.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	88.16	—
29年3月期第3四半期	152.87	—

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	16,131	11,691	72.5	5,501.19
29年3月期	16,147	11,488	71.2	5,405.39

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,691百万円 29年3月期 11,488百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	3.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月(予想)の1株当たり期末配当金は3円00銭となり、1株当たり年間配当金は6円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	△1.7	450	3.7	460	△2.6	300	67.4	141.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,130,000 株	29年3月期	2,130,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	4,785 株	29年3月期	4,555 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,125,382 株	29年3月期3Q	2,125,570 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

2. 当社は、平成29年6月29日開催の第92回定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で株式併合(普通株式10株につき1株の割合で併合)及び単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 3円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 14円12銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要が一昨年来の新造船の新規受注低迷の影響を受け弱含みに推移し、産業機器の需要も製鉄関連が低調でした。資源関連については、半導体、情報通信関連分野の需要が堅調に推移いたしました。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は低下基調にあります。

上述の如き環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億7千1百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は3億7百万円（同26.0%減）となり、営業外損益における中国合弁会社に係る持分法投資利益の減少等により経常利益は3億6百万円（同36.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8千7百万円（同42.3%減）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

船用機器は、新造船の新規受注の低迷による造船所の建造ペースの減速の影響等により売上、受注とも減少いたしました。産業機器は、売上は設備工事関連が増加したものの、製鉄関連の大型案件の一巡により減少いたしました。受注は空気予熱機や設備工事関連の需要が堅調に推移したことから増加いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は41億6千4百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は2億3千万円（同46.1%減）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石部門の売上は、住宅関連資材向け需要に緩やかな回復が見られましたが、工事関連商品の需要が低調でやや減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）部門の売上は、液晶関連が低調に推移いたしました。半導体関連及び光学関連の需要が堅調に推移し増加いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は16億4千4百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失は2千3百万円（前年同期は営業損失5千7百万円）となりました。

③不動産関連事業

新規テナント入居により、稼働率が改善したこと等から、売上高は1億4百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は4千4百万円（同23.8%増）となりました。

④素材関連事業

耐熱塗料の売上は、設備用がやや減少したものの、工業用が堅調で増加いたしました。また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上も、セメント業界向けが増加し、この結果、素材関連事業全体では、売上高は5億5千7百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は4千9百万円（同2,623.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、161億3千1百万円となり、前連結会計年度末比1千5百万円減少いたしました。これは、有形固定資産の増加、投資有価証券の増加がある一方、受取手形及び売掛金の減少、流動資産のその他に含まれている未収入金の減少があったこと等によるものであります。負債合計は44億4千万円となり、前連結会計年度末比2億1千7百万円減少いたしました。これは、未払法人税等の減少、有利子負債の減少があったこと等によるものであります。純資産合計は116億9千1百万円となり、前連結会計年度末比2億2百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は72.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,448,142	4,372,270
受取手形及び売掛金	2,296,038	2,096,081
電子記録債権	389,842	397,918
商品及び製品	209,212	281,627
仕掛品	675,530	760,119
原材料及び貯蔵品	305,507	292,816
その他	508,671	304,042
貸倒引当金	△1,735	△1,017
流動資産合計	8,831,210	8,503,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,003,726	1,971,094
機械装置及び運搬具（純額）	516,949	787,369
土地	2,404,359	2,358,388
その他（純額）	134,603	61,949
有形固定資産合計	5,059,639	5,178,802
無形固定資産	13,778	14,956
投資その他の資産		
投資有価証券	1,679,380	1,876,287
その他	564,358	559,326
貸倒引当金	△1,282	△1,482
投資その他の資産合計	2,242,457	2,434,132
固定資産合計	7,315,875	7,627,891
資産合計	16,147,085	16,131,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	769,024	736,582
短期借入金	1,385,104	1,350,468
未払法人税等	168,091	17,753
賞与引当金	93,716	24,598
役員賞与引当金	13,600	10,200
受注損失引当金	6,324	18,865
その他	726,545	881,704
流動負債合計	3,162,406	3,040,173
固定負債		
長期借入金	121,194	19,805
役員退職慰労引当金	133,670	101,887
環境安全対策引当金	35,479	5,008
退職給付に係る負債	692,461	658,366
資産除去債務	56,156	62,307
その他	456,849	552,985
固定負債合計	1,495,811	1,400,358
負債合計	4,658,218	4,440,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	9,067,699	9,127,538
自己株式	△10,854	△11,363
株主資本合計	10,968,102	11,027,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452,251	585,896
繰延ヘッジ損益	126	707
為替換算調整勘定	96,739	101,821
退職給付に係る調整累計額	△28,352	△24,639
その他の包括利益累計額合計	520,764	663,785
純資産合計	11,488,867	11,691,217
負債純資産合計	16,147,085	16,131,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,873,605	6,471,675
売上原価	5,525,523	5,291,439
売上総利益	1,348,081	1,180,235
販売費及び一般管理費	932,503	872,547
営業利益	415,578	307,688
営業外収益		
受取利息	797	480
受取配当金	39,534	41,505
持分法による投資利益	56,320	—
その他	31,410	42,317
営業外収益合計	128,062	84,303
営業外費用		
支払利息	8,451	7,536
持分法による投資損失	—	23,644
休廃止鉱山管理費	41,857	47,916
その他	8,189	6,182
営業外費用合計	58,498	85,280
経常利益	485,142	306,711
特別利益		
固定資産売却益	490	512
関係会社出資金売却益	8,741	—
特別利益合計	9,232	512
特別損失		
固定資産処分損	765	15,881
その他	—	2,620
特別損失合計	765	18,501
税金等調整前四半期純利益	493,609	288,722
法人税、住民税及び事業税	133,134	29,391
法人税等調整額	35,549	71,966
法人税等合計	168,683	101,358
四半期純利益	324,925	187,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,925	187,364

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	324,925	187,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,621	133,645
繰延ヘッジ損益	6,608	580
退職給付に係る調整額	2,287	3,712
持分法適用会社に対する持分相当額	△126,532	5,081
その他の包括利益合計	101,984	143,020
四半期包括利益	426,910	330,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,910	330,385
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,823,315	1,458,425	98,761	493,102	6,873,605	—	6,873,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	225	—	4,534	4,759	△4,759	—
計	4,823,315	1,458,650	98,761	497,636	6,878,364	△4,759	6,873,605
セグメント利益又は損 失(△)	428,380	△57,423	36,317	1,805	409,079	6,499	415,578

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去7,740千円、全社費用△1,240千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,164,691	1,644,824	104,996	557,162	6,471,675	—	6,471,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	159	—	3,678	3,837	△3,837	—
計	4,164,691	1,644,983	104,996	560,840	6,475,512	△3,837	6,471,675
セグメント利益又は損 失(△)	230,708	△23,918	44,950	49,179	300,920	6,767	307,688

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去7,740千円、全社費用△972千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。